

きよせ

40号

平成24年(2012年)3月1日発行



小学校連合運動会 長縄跳び



芝生化された清瀬第五中学校の校庭



小中学校書き初め展



小学校連合運動会 リレー

教育委員コラム

2月には毎年スーパードッジボール大会が行われます。今年は、13回目を迎えました。3・4年生の開会式は立春とはいえ寒い日で、渋谷市長も出席されました。市長の元気ハツラツな挨拶に負けないうらい大きな声で答える選手たち。体育館に歓声がこだましました。その素直さが可愛く、愛おしく、宝物だと思いました。清瀬の子どもたちは素直です。どの学校に伺っても挨拶をしてくれますし、声を掛ければ応えてくれます。

清瀬市教育委員会の教育目標は、当たり前前ことを当たり前前にできる教育です。義務教育課程を終えて中学校を卒業する子供たちが、社会で自立する基礎を身に付けることです。学力とは、計算する力や文章を書く力だけではなく、自分で考え、自分で判断し、行動する、自立して生きていく力を育むことに他なりません。その力を「生きる力」として活用できることが大切です。

昔より考え方が多様になり、「当たり前前」のことが当たり前前にできる」ということにたくさんの方の方法があるかもしれません。様々な考え方や生き方のなかで、子どもたちが自立していく時に、「生きる力」を十分活用して、夢に向かい進んでほしいと思います。そのために、家庭と学校が積極的に関わり合いながら、互いに信頼し合い、支えあって良い環境を作っていくことが必要だと思っています。



伊豆倉 和恵 委員

ユニークな教育活動の紹介
 ～豊かな心の育成を目指して 清瀬第五中学校～

四季の花が咲き、緑豊かな清瀬の地に清瀬第五中学校は市内5番目の中学校として昭和56年4月に開校しました。

本校は「和敬 思索 剛健」の教育目標のもと、思いやりがあり、深く考える、たくましくがまん強い人づくりを目指しています。「よい習慣は、よい人格をつくる」の言葉のごとく、「生活5カ条」と「学習5カ条」をつくり、基本的生活習慣の定着に力を入れています。

- 生活5カ条
- 一、学校生活の決まりを守る人になろう
 - 二、礼儀正しい人
 (服装・挨拶・言葉づかい)
 ありがとうを言える人になろう
 - 三、何事にもはじめをもてる人になろう
 - 四、掃除を積極的に取り組める人になろう
 - 五、命と心を大切に出来る人になろう
- 学習5カ条
- 一、5分前準備
 - 二、私語厳禁
 - 三、チャイム着席厳守
 - 四、積極的な挙手
 - 五、始礼・終礼の徹底

昨年11月には創立30周年記念式典を挙行しました。参加した生徒は礼

儀正しく落ち着いていて、来賓の方々から「素晴らしかった」とお褒めの言葉をいただきました。これも開校以来温かく見守ってくださった保護者や地域の皆さんのお陰であると感謝します。



記念式典での箏曲部の演奏

東京都人権尊重教育推進校に指定

本校は平成23、24年度「東京都人権尊重教育推進校」として、研究を進めています。

研究テーマは「互いに高めあい、思いやりの心のある生徒の育成」です。人権教育の目標は①人権に関わる基本的な知識を身に付け、差別や偏見などの課題を解決する能力を育

成すること。②自他の生命を尊重し、人権を大切に心情や態度を育成すること。③相手の立場に立って、考えたり、行動できたりする能力や態度を育成することです。目標を達成するために実践的な教育活動を行っています。日常の授業や道徳の充実はもちろんですが、コミュニケーション活動(教え合い)を取り入れた授業改善、人権意識向上のための特別活動に取り組んでいます。

教育の原点はどの子も「かけがえない存在」として大切にされることです。そして子供の豊かな心や意欲は、自分の居場所があり、温かい人間関係のもと、様々な体験活動を



苗の植え付けから出荷まで 農業体験



農園活動

通し育まれるのではないでしょうか。市の「手をつなぎ、心をつむぐ、みどりの清瀬」や教育委員会の「当たり前のことを当たり前にできる教育」ということを基本に体験学習を充実させています。その一つにJA清瀬や近隣の農家の方々のご協力を得て実施した「農業体験」があります。普段自分たちが何気なく口にしている野菜ができるまでにどれだけの手力が必要なのか考える良い機会となったことでしょう。

また、本校には校庭の一面に農園があります。農園では給食の生ごみから作ったコンポストと呼ばれる肥料を活用して学級ごとに様々な野菜を育てています。

また、家庭科の選択授業では「赤ちゃんのチカラプロジェクト」と題し、お父さん・お母さんになったつもりで実際に赤ちゃんとおふれ合う体験をしました。赤ちゃんをあやしたり、本の読み聞かせをしたりして、自分たちが小さいころにしてみたら、今度は自分たちがしてみることにより、その難しさや命の尊さを学びました。



赤ちゃんとふれ合う生徒たち

吹奏楽部では「社会を明るくする運動」の一環として7月にけやきホールで開催された「きよせ子どもコンサート」に出演したり、市内の高齢者福祉施設を訪問して演奏をしたりしています。地域の中に生きる様々な人々と協力しあうことを学びました。



きよせ子どもコンサートで演奏

学校の環境整備・緑化推進として、昨年夏から校庭の芝生化と校舎壁面の緑化に取り組みました。秋からは芝生の校庭で体力向上を兼ねた「校内マラソン大会」や小学校と連携した「部活動体験」を実施しました。



芝生校庭で野球部の部活動体験

授業では、数学の少人数授業や英語の学習支援員を活用したきめ細かな指導を展開しています。さらに今年度は外部ボランティアの活用を図り、3年生では「都立高校受検基礎講座」を2学期から週2回開講しました。ほぼ全員の生徒から満足の声があがっています。



学習支援員による英語指導

部活動にも力を入れています。運動部はサッカー部の都大会出場、野球部の多摩大会出場をはじめとして、バドミントン部・バスケットボール部も市内大会で活躍しています。文化部も吹奏楽部の都のコンクールでの銀賞受賞、書道部の各大会での多数の入賞など優秀な成績を収め、「文武両道」の学校として評価されています。

教職員に対しても徹底した研修を実践しています。外部講師による校内研修の実施や、教職大学院・関係諸機関との連携事業の実施により、人権意識の向上を図っています。



外部講師による校内研修

本校ではこれからも様々な教育活動を通し、子どもの豊かな心を育てていきます。しかし、自他を大切にする心の育成は一朝一夕にはできません。保護者や地域の皆さんと連携し、教職員が一丸となってさらなる高みに挑戦していきます。

【問合せ】清瀬第五中学校

☎ 492-6315

「ゆりーとダンス」を踊ってスポーツ祭東京2013を盛り上げよう!

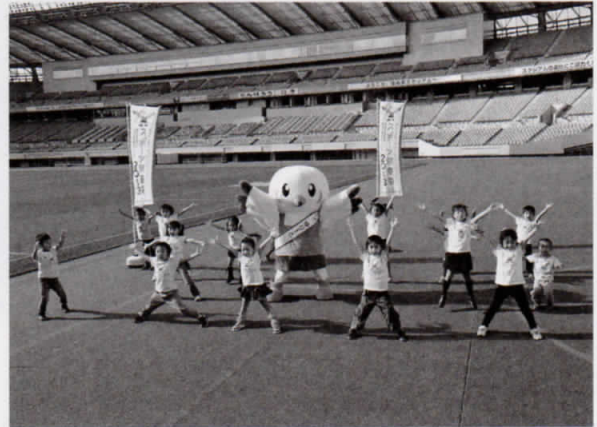
平成25年度に東京でスポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会)が開催され、清瀬市は女子サッカー競技の会場となります。大会の開催を広くPRするために、東京都がマスコットキャラクター「ゆりーと」をイメージした「ゆりーとダンス『ニコリ・ファイト!』」を制作しました。

この「ゆりーとダンス」はヒット曲「マル・マル・モリ・モリ」の振付を担当した濱田Peco美和子さんが作詞・作曲・振付をしたもので、スポーツ祭東京2013の成功とスポーツを通じて日本を元気にしようという願いが込められています。

子どもから大人まで覚えやすく楽しく踊ることができるこの「ゆりーとダンス」でスポーツ祭東京2013を盛り上げていきましょう。

※「ゆりーとダンス」の詳細はスポーツ祭東京2013の公式ウェブサイトでご覧いただけます。

アドレス <http://www.sports-sai-tokyo2013.jp/>



みんなで踊ろう ゆりーとダンス

【問合せ】 生涯学習スポーツ課 ☎ 495-7001

普通教室へエアコン整備を進めています

夏季休業期間中の補習授業の増加など、夏の熱中症対策及び快適な教育環境の提供のため、小・中学校の普通教室にエアコンの整備を進めています。

平成23年度に8校、平成24年度に6校の整備を実施します。整備するエアコンは節電対策と環境への影響等を考慮し、ガスヒートポンプ方式としました。



普通教室に設置されたエアコン

【問合せ】 教育総務課 市役所内線324

図書館特別整理休刊のお知らせ

平成24年3月21日(水)から3月30日(金)まで、電算処理システムの入替え及び蔵書の点検のため、清瀬市立図書館は全館休館します。ご迷惑をおかけしますがご理解・ご協力をお願いいたします。

なお、3月20日(火)は祝日ですが、中央・元町子ども・下宿・野塩・竹丘の各図書館は午前10時から午後5時まで、駅前図書館は午前10時から午後6時まで開館します。

3月31日(土)からは全館開館します。ご来館をお待ちしています。



【問合せ】 中央図書館 ☎ 493-4326

「うちおりー清瀬市及び周辺地域の自家製織物ー」を刊行しました

郷土博物館では平成16年から「うちおり」衣料の聞き取り調査と資料の収集・整理に取り組んできました。衣生活の歴史を理解する上で貴重な資料として、清瀬市有形民俗文化財「清瀬市及び周辺のうちおり衣料」に指定されました。これらの文化財は明治時代から昭和20年代にかけて商品としてではなく、市周辺の農家の女性たちが家族用に織ったものです。

このたびこれらの「うちおり」衣料についての時代背景や聞き取り内容等をまとめた報告書「うちおりー清瀬市及び周辺地域の自家製織物ー」を刊行しました。是非お手にとってご覧ください。

販売価格 2,000円(税込)

販売場所 郷土博物館・清瀬市役所・けやきホール・生涯学習センター
中央図書館・野塩地域市民センター・松山地域市民センター

【問合せ】 郷土博物館 ☎ 493-8585



表紙写真

公共図書館でたくさん読まれている本をご紹介します

清瀬市立図書館でこの一年間に貸出回数が多かった本を紹介します。どの本を読もうか迷った時の参考にしてください。

一般書では、映画やドラマの原作になった本にリクエストが集中します。今回の順位では1位『新参者』、6位『謎解きはディナーの後で』、8位『告白』、10位『流星の絆』が該当します。熱狂的なファンをもち、出版の際には社会現象にもなった村上春樹氏の『1Q84』全三部作や出版されれば必ずと言ってよいほどリクエストが出る東野圭吾氏の4作品が入っています。5位の『尾張ノ夏』は、佐伯泰英氏の居眠り磐音江戸双紙のシリーズ34作目の時代小説です。時代小説も新しい書き手がたくさん出ており、読者の幅が広がっているジャンルです。

児童書では、昨年選定された「清瀬の100冊」から5冊ランクインしています。公共の図書館でも「清瀬の100冊」が多くの方々に親しまれています。そして「かいけつゾロリシリーズ」は今回4冊ランクインする人気シリーズ。本を読むことの面白さを実感してもらい、次の読書への足がかりになればと思います。4位の『ポケモンといっしょに覚えよう熟語大辞典』は、読売新聞社からご寄贈いただいた本で、とても好評です。

今回の一覧にある本の中にはまだまだリクエストがたくさん出ていて図書館の本棚に並んでいないものも多くあります。時間はかかりますが、リクエストの受付をしていますので気軽にお声をかけてください。

一般書

順位	書名	著者名	所蔵館※
1	新参者	東野 圭吾/著	中・駅・下・野・竹
2	1Q84 BOOK1 4月-6月	村上 春樹/著	中・駅・下・野・竹
3	1Q84 BOOK2 7月-9月	村上 春樹/著	中・駅・下・野・竹
4	白銀ジャック 実業之日本社文庫	東野 圭吾/著	中・駅・下・野・竹
5	尾張ノ夏 居眠り磐音江戸双紙 34	佐伯 泰英/著	駅・野・竹
6	謎解きはディナーのあとで	東川 篤哉/著	中・駅・下・野・竹
7	カッコウの卵は誰のもの	東野 圭吾/著	中・駅・下・野
8	告白	湊 かなえ/著	中・駅・下・野・竹
9	1Q84 BOOK3 10月-12月	村上 春樹/著	中・駅・下・野・竹
10	流星の絆	東野 圭吾/著	中・駅・下・野・竹

児童書

順位	書名	著者名	所蔵館※
1	どうぞのいす 清瀬の100冊 本は友だち	柿本 幸造/画 香山 美子/著	中・元・駅・下・野・竹
2	ともだちや 清瀬の100冊 本は友だち	降矢 なな/画 内田麟太郎/著	中・元・駅・下・野・竹
3	100万回生きたねこ 清瀬の100冊 読書の旅	佐野 洋子/画著	中・元・駅・下・野・竹
4	ポケモンといっしょにおぼえよう熟語大辞典	読売新聞社	中・元・駅・下・野・竹
5	かいけつゾロリのにんじゃ大さくせん	原 ゆたか/著	中・元・下・野・竹
6	おまえうまそうだな 清瀬の100冊 本は友だち	宮西 達也/画著	中・元・駅・下・野・竹
7	かいけつゾロリのだ・だ・だ・だいぼうけん 前編	原 ゆたか/著	中・元・下・野・竹
8	めっきらもっきらどおんどん 清瀬の100冊 本は友だち	ふりやなな/画 長谷川摂子/著	中・元・駅・下・野・竹
9	かいけつゾロリ大けつとうゾロリじょう	原 ゆたか/著	中・元・野・竹
10	かいけつゾロリのだ・だ・だ・だいぼうけん 後編	原 ゆたか/著	中・元・下・野・竹

※中：中央、元：元町こども、駅：駅前、下：下宿、野：野塩、竹：竹丘の各図書館で所蔵しています。

【問合せ】 中央図書館 ☎493-4326

教育委員会の動き

◎審議状況

平成23年9月から平成24年1月までの審議状況をお知らせします。この間に定例会を5回開催し、議決された議案は下記のとおりです。

- 議案第10号 清瀬市社会教育委員の選任について
- 議案第11号 清瀬市郷土博物館協議会委員の選任について
- 議案第12号 事務の臨時代理の承認について
- 議案第13号 清瀬市教育委員会表彰について
- 議案第1号 平成24年度 清瀬市教育委員会 教育目標について

◎教育委員会の会議について

教育委員会の会議はどなたでも傍聴できます。開催日時や傍聴の方法などについては清瀬市公式ウェブサイトをご覧ください。下記担当課へお問い合わせください。

【問合せ】 教育総務課 市役所内線324

平成24年2月7日、清瀬市役所で平成23年度清瀬市教育委員会表彰式典が行われました。
今年度はスポーツ部門で4名・1組・1団体が受賞しました。
受賞された方々は次のとおりです。今後のさらなる活躍に期待しています。

山本 彩音（清瀬第八小学校）
秋山 唯（清瀬中学校）
貫井 将吾（清瀬中学校）
山本 鈴音（清瀬中学校）
荒井 咲桜香（清瀬第二中学校）
荒井 流風香（清瀬第二中学校）
清瀬第五中学校新体操部
（敬称略）



受賞者の皆さん

清瀬第十小学校の食育活動紹介

【問合せ】 学務課 市役所内線333

清瀬第十小学校では、「食に関する年間指導計画」をもとに、各学年・学級で食育に取り組んでいます。
特に1学期には、1年生はグリーンピースのさやむき、2年生は枝豆の枝切り、3年生はとうもろこしの収穫体験などを実施し、当日給食に使う食材の下処理の一部を児童自身が行うことで作業の大変さを実感したり、食材の魅力を感じたりするなど、給食をより身近に感じられるような活動を実践しています。

食育月間である6月には、給食委員会で食べ残し調べを1週間行いました。学級別に結果を集計し、学校と学年の平均や学級の結果を1枚のグラフにして各学級でのその後の給食指導に利用しました。

夏は気温・湿度ともに上昇し、児童の食欲は落ちてしまいがちです。しかし、この食べ残し調べ以降から7月末までの残菜率と前年のものを比較すると約2%の改善がみられ、食に対する意識が児童・教職員ともにかわっていることがわかりました。

これらの食育活動や各学級での担任教員による給食指導、栄養士の巡回などにより食べ残しの量は減ってきていますが、食事中のマナーや配膳の仕方についてはまだまだ課題も多くあり、今後の食育活動のテーマにしていきます。



グリーンピースのさやをむく1年生

音訊メディアをお貸しします

教育委員会だよりの音訊を収録したCDをお貸しします。
詳しくは秘書広報課へお問い合わせください。



教育委員会だよりきよせ 第40号

編集・発行
清瀬市教育委員会
☎ 492-5111（代表）